

令和2年1月30日

## 特色ある取組 特集

### 1 給食・清掃活動を取り入れた 体験授業の実践

仲井真中 G

去る 12 月、真地小学校と仲井真小学校を招いての「仲井真中体験授業」が行われました。仲井真中グループでは初めての取組でしたが、小中一貫教育コーディネーターの新里先生を中心に計画・推進され、中学校の先生方の工夫と臨機応変な対応もあり、非常に活気ある1日となっていました。

日程	1 時間目	学校巡り
	2～4 時間目	体験授業（各学級3コマずつ、2日間計 15 時間） ※特別支援学級も含む

#### ★給食、清掃活動も行いました！

授業例	体育：中学校進学時にもすぐ使える「集団行動」を取り入れた3クラス合同授業
	英語：小学校でも取り組んでいる「フォニックス」を活用して文字と音をつなぐ
	国語：「名詞の種類」の種類ごとに分けて色塗りすると絵が浮き上がるシートの活用
	理科：国場川の生物を顕微鏡で観察（プレパラート作り）
	数学：1～6までの数字を使って和を9にする魔法陣（負の数も使ってみよう）

準備も自分で！



「給食と一緒に中学生と」



トイレ掃除もお兄さん達の指導の下、がんばりました



#### 児童の感想

- ・仲井真中ってどんな学校なんだろうって不思議に思ったけど、色々な体験ができてとても楽しかった！中学校でも楽しくやっていきたいです。
- ・仲井真中学校に着いたとき、中学生があいさつしてくれて教室まで連れて行ってくれたのがうれしかったです。
- ・いろいろな6年生でしてないことをしてくれたので楽しかったです。なので、中学校になるのをすごく楽しみにしています。
- ・今日1日を通して、不安だった中学校生活が先生が苦手な人でも楽しめるように支えてくれているので、4月が待ち遠しくなりました。

#### 先生の感想

- ・中学校の先生方と直接授業したり会話したりすることで、どんな先生がいてどんな授業をするのかわかり、安心して入学の日を迎えることができました。（小）
- ・この時期、三者面談の準備や調査書作成と重なりハードな状況であることは確かだと思う。（中）
- ・中1ギャップをなくす効果はあると思います。次年度も続けましょう。（中）

## 2 生徒指導部会が主体となった 学級会の授業実践

寄宮中G

寄宮中グループでは、生徒指導部会のテーマのもと、小中学校の先生方が合同で指導案を作成し、課題「いじめについて」を共有した特別活動の授業に取り組みました。

また、その授業を小中合同授業研究会で、2校が発表しました。

**生徒指導部会テーマ** 小中の課題を共有し、児童・生徒の力を引き出す生徒指導

**今年度の取組** これまで継続して取り組んできた「いじめ」について、G全校で道徳や特別活動の授業に取り組む

**指導案作成メンバー** 寄宮中生徒指導主事、上間小6年全教諭、  
小中一貫教育コーディネーター、  
(指導助言：那覇市教委指導主事)

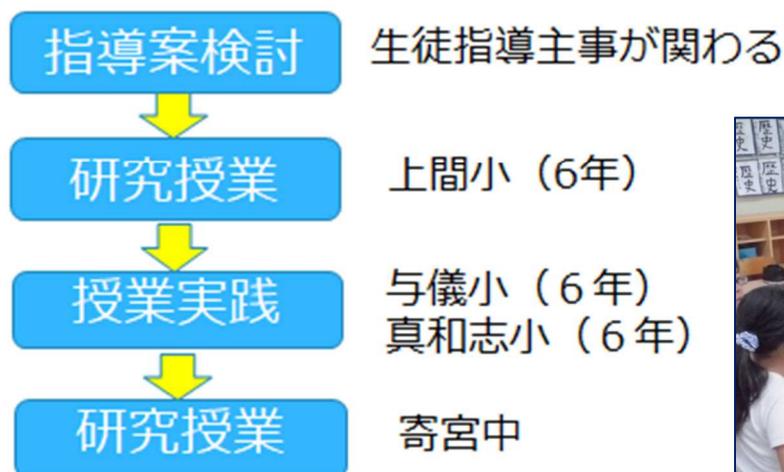
**その他の主な取組**

- 小中情報交換会（生徒指導主事の参加）
- 遅刻や不登校対策の連携、長期欠席児童生徒への共通した取組
- アセスメントシート・プランニングシートの活用

小中合同授業研究会までの流れ

特別活動 学級活動（2）

「いじめのない学級にするために、自分にできることを決めよう」



検証授業の様子